

REINFORCED EARTH METHODS

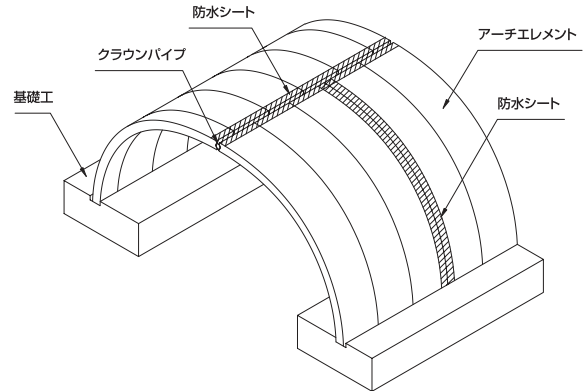
テクスパン工法

NETIS掲載工法CB-980117

テクスパン工法は、フランスで開発された3ヒンジ構造のプレキャスト・アーチカルバート工法です。3ヒンジ構造にすることで、薄いアーチ部材であるにもかかわらず、大スパンへの適用が可能です。この特性を活かし、短スパン橋梁や、高架橋の代替として、日本国内においても多くの実績を上げています。近年では1級河川を横断する橋梁の代替としても採用されています。

●主な特長

- ①3ヒンジ・プレキャストアーチ
 - ・アーチ部材の厚さは25、30、35、40cmの4種類
- ②最小限の交通遮断
 - ・アーチ部材の架設終了後、直にテクスパン内空側の供用が可能
- ③簡単な架設
 - ・特殊な支保工や熟練工は不要
- ④大幅な工期短縮 ・1日10m程度アーチ部材架設が可能
- ⑤万全の品質管理 ・使用部材は厳しい品質管理のもとに製作



●施工手順



基礎工事

アーチ部材の
組立

坑口部の
連結工

防水工事

盛土工事
坑口工事

完成

●採用事例

■道路橋

[北海道]



■道路橋

[静岡県]



■水路

[島根県]



■連続アーチ

[岩手県]



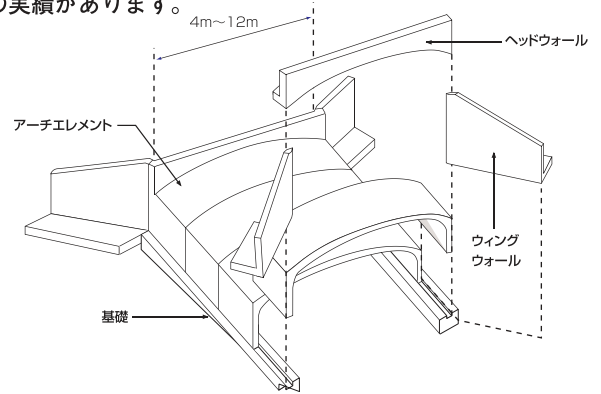
コンスパン工法

NETIS掲載工法CG-020004

コンスパン工法は、プレキャストアーチカルバート・ブリッジシステムとしてアメリカで開発されました。内空幅4m～12mの小・中規模のスパンに適しており、大幅な工期短縮と工費削減を可能にする短スパン橋梁の代替工法です。美しいアーチ形状は景観性に優れており、日本でも既に50件以上の実績があります。

●主な特長

- ①優れた経済性
 - ・PC橋梁に比べ20%コストダウン
- ②カルバート構造だから設計は簡便
- ③河床に触れないポータルカルバート構造
- ④大幅な工期短縮
 - ・1日15部材架設が可能
- ⑤万全の品質管理
 - ・使用部材は厳しい品質管理のもとに製作
- ⑥美しいアーチ形状



●施工手順



基礎工事

アーチ部材の組立

防水工事

ヘッドウォール

ウイングウォール

完成

●採用事例

